

インタープリテーション計画研修案

(2017, 06, 28)

事業名
インタープリテーション計画研修 ービジター・サービスと資源保護の戦略策定ー
概要
主 題: インタープリテーション計画 日 程: 2017年9月12日(火)～15日(金) 場 所: 東京(江戸東京博物館)、山梨県北杜市(公益財団法人キープ協会) 言 語: 英語
主催
国際機関日本アセアンセンター
実施背景
<p>持続可能な観光は、貴重な観光資源の保護、訪問者への良質な体験の提供、そしてその観光地域の人々の生活の向上のための不可欠な取り組みとして、世界で注目されています。</p> <p>インタープリテーションは持続可能な観光において欠かすことのできないコミュニケーション手法であり、聞き手・受け手が観光資源の意味や価値を理解し、正しく評価できるように促すものです。その結果として、観光資源の劣化の緩和が進められたり、観光資源に対して知識を持つ支持者の増加につながることを期待できます。</p> <p>インタープリテーション計画は、遺産サイトの管理面でのニーズや、資源に関する問題を取り入れて、観光地や観光施設でのビジター・サービスを進めていく上でのガイドラインを示すものです。そして、サイトでのビジターサービスの戦略的な運営と管理の仕方についても記します。インタープリテーション計画は、持続可能な観光開発と管理、運営に必要なツールと言えます。</p>
事業目的
<p>インタープリテーション計画研修の長期的な目的は、日本と ASEAN 加盟国での持続可能な観光産業の育成に寄与することです。本事業では特に以下のことを目標とします。</p> <ol style="list-style-type: none">(1) 日本とASEANの遺産地区・施設において、資源管理とビジター・サービスに関するインタープリテーション計画が必要であるという認識を深める。(2) 日・ASEANからの参加者である遺産地区・施設の管理者レベルの業務従事者(例: シニアインタープリターや管理者)のインタープリテーション計画に関する技能を向上させる。(3) 日・ASEANからの参加者が担当する遺産地区・施設でのビジター・サービスと資源保護の質を高める。
研修対象者
日本と ASEAN 加盟国の遺産地区・施設のシニアインタープリター/ガイド/コミュニケーター および 日本と ASEAN 加盟国の遺産地区・施設の現場管理者

両者とも、ビジターサービスまたはサイトの管理運営に関して決定権を持っている者（計画作成の権限をもっている、策定した計画を実施する権限を持っているなど、そのサイトの計画、管理、運営に影響を与えられる人）

日本およびASEAN加盟国の計 11 カ国からそれぞれ 2 名（合計 22 名）

研修成果

- (1) 日・ASEAN のシニアインタープリターと現場管理者に対して 4 日間の研修の実施
- (2) 研修参加者による、個々が担当する遺産地区・施設のインタープリテーション計画案の作成
- (3) 研修参加者による、個々が担当する遺産地区・施設のインタープリテーション計画の完成
(研修後 3 ヶ月以内)
- (4) 研修参加者による、インタープリテーション計画に記された活動の実行
(研修後 6 ヶ月以内)
- (5) 研修参加者による、持続可能な観光地管理の更なる向上のため方策提言
(研修後 10 ヶ月以内)

*下線部分は変更の場合あり

研修日程

- 9 月 11 日（月） 羽田・成田空港より入国、宿泊ホテルに移動
(宿泊：東京)
- 9 月 12 日（火） インTRODakション／オリエンテーション
江戸東京博物館視察（テーマに沿ったインタープリテーションを展示、音声ガイド、ガイドツアーを通して体験する）
清里（山梨県北杜市）へ移動
(宿泊：山梨県清里)
- 9 月 13 日（水） トレーニングセッション 1-4
1: 主義・管理目的・目標は何か
2: 管理地域にある資源の重要性・特徴は何か
6: 資源の目録作り
3: 来訪者にどのような体験をしてもらうか
4: メッセージの要素
(宿泊：山梨県清里)
- 9 月 14 日（木） トレーニングセッション 5-7
5: 来訪者の分析
7: メディアの特徴、どのメディアを使うと良いか
インタープリテーション体験
計画のドラフト作成
(宿泊：山梨県清里)
- 9 月 15 日（金） トレーニングセッション 8
8: インタープリテーションの評価
計画のドラフト作成

東京へ移動
解散

参加者の帰国 (深夜便の参加者)

(宿泊：東京ー帰国が翌日の参加者)

9月16日(土) 参加者の帰国 (朝便の参加者)

(予定)